

基本方針素案に対する主な意見

令和元年5月15日
国土交通省 港湾局

基本方針素案に対する主な意見

項目	意見の内容
全般	<ul style="list-style-type: none">● 「直面する個別の課題の解決に注力する従来の考え方から脱却し、その先の中長期的な発展や変化を見据えた対応をする」について、空間的スケールの視点に立った対応も必要。● 港湾の保安対策について、物理的な対策だけでなく、サイバーセキュリティに係る対策も必要。● 生活や産業、防災等のためのインフラの重要性について、教育を通して国民がしっかり認識する必要がある。
国際バルク戦略港湾政策	<ul style="list-style-type: none">● 港湾政策の方向における、国際バルク戦略港湾に係る記述について、どのように政策を推進していくか記述を充実させるべき。
観光振興・賑わい創出に資する空間利活用	<ul style="list-style-type: none">● 港湾空間の形成に当たっては、クルーズやインバウンド観光の振興だけでなく、都市や地方再生の幅広い視点から、市民の生活の質の向上に港湾が寄与することが重要であり、交流人口の拡大はその一つの方策。● 人々の多様な海岸利用と津波・高潮等に対する防災対策を両立させることが重要。● 港湾の静穏な海域は優れたストックであり、陸域と海域を一体とした多様な活用が重要。
災害対策	<ul style="list-style-type: none">● 港湾には、電力供給インフラや燃料供給インフラに加え基礎素材を供給する工場が立地しており、それらが被災すると我が国全体に影響が及ぶことを踏まえた防災・減災対策が必要。
港湾相互間の連携	<ul style="list-style-type: none">● 地域ブロックごとに港湾の機能や利活用方策等について検討・共有し、港湾ごとの機能分担及び相互間連携を図るに当たっては、行政だけでなく民間企業等の関係者も参画し意見集約をする必要がある。